

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号	880
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5041	1	担当部課名	市民生活部観光・ふれあい課	
				担当課長名	岸上 孝志

## 1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	文化振興財団補助事業				
財務会計上の事業名	文化振興財団補助事業				
事業の対象【誰(何)を】	財団法人いけだ市民文化振興財団				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	本財団の文化振興事業に対して補助を行う				
事業の目的【どのような結果を得るか】	池田市の文化振興に寄与する事業が展開され、市内外からの集客につながっている				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	補助金額とギャラリー指定管理料の配分見直し				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	財団法人いけだ市民文化振興財団補助金交付要綱				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		27,500	27,500	27,500	27,500	27,500	100.0%	
内訳	人件費(人・千円)	0.10	800	0.10	800	0.10	780	0.10	780	100.0%
	正職員	0.10	800	0.10	800	0.10	780	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			28,300		28,300		28,280		28,280	99.9%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		28,300		28,300		28,280		28,280	99.9%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業数	件	10	10	10	10	10
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	旧文化課の業務を引き継ぎ、文化振興財団が事業を実施しているが、事業委託の方が補助よりも最善であると考えます。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	市からの補助事業であるため。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
今年が指定管理者の選定ということもあり、並行した中で業務委託を視野に検討することが望ましい。	

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号	875
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5042	1	4	担当部課名	市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	文化振興助成事業				
財務会計上の事業名	文化振興助成事業				
事業の対象【誰(何)を】	池田市民並びに池田市民が構成する団体				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	①申請のあった文化活動事業へ補助金の交付(文化振興補助金)。②文化・スポーツ分野で全国大会に出場・入賞するなど、顕著な成績をおさめた市民へ、市長から奨励金を交付(文化振興奨励金)。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	池田市民及び池田市の文化振興促進につなげる。また池田市民としての自覚、愛着を育み、より市にご協力いただく。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～)		<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成21年度		<input type="checkbox"/> 未実施		
※見直し内容を記入	文化振興奨励金交付基準の見直し				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度		<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	①池田市文化振興補助金交付要綱、②池田市文化振興奨励記念品等交付要綱				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)	3,018		335		110		1,300	
人件費(人・千円)	0.00		0	0.05	400	0.05	390	0.05	390	100.0%
内訳	正職員	0		0.05	400	0.05	390	0.05	390	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0		0	0	0	0	0	0	-
	任期付短時間勤務職員	0		0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0		0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト	0		0	0	0	0	0	0	-
支出合計 A		3,018		735		500		1,690		68.0%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源	2497				64		58		-
	一般財源	521		735		436		1,632		59.3%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	補助金交付件数	件	6	1	0	2	2
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	奨励金交付件数	件	22	12	16	15	15
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 文化活動等の支援・奨励方法のうち、特にスポーツ分野及び小中学生への奨励金の交付については関連部署との調整を行う必要。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 補助金や奨励金を支出するため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
課題について担当部署と調整のうえ、奨励金の適正な交付に努める必要。	課題について担当部署と調整のうえ、奨励金の適正な交付に努める必要。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )			財務会計上の短縮番号	906
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5042	1	2	担当部課名	市民生活部観光・ふれあい課
				担当課長名	岸上 孝志

## 1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	まちかどギャラリー事業				
財務会計上の事業名	まちかどギャラリー事業				
事業の対象【誰(何)を】	本町通りに設置されている絵画展示用スペース10箇所				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	業者に委託し、池田市所蔵絵画や写真などを入れ替え展示				
事業の目的【どのような結果を得るか】	池田市民へ芸術文化に触れる機会を身近に提供				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成   年度 ~ )		<input type="checkbox"/> 時限 (平成   年度~平成   年度)		
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成22年度		<input type="checkbox"/> 未実施		
※見直し内容を記入	補助類の精査				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度		<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入					

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		423		401		402		
内訳	人件費(人・千円)	0.10	800	0.05	400	0.05	390	0.05	390	100.0%
	正職員	0.10	800	0.05	400	0.05	390	0.05	390	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			1,223		801		792		878	98.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,223		801		792		878	98.8%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	絵画交換頻度	回	4	4	4	4	4
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	反響を把握しにくいですが、本町通りの文化芸術性を高めている。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	絵画を所有できるスペースがあり、定期的な入替作業が安価で可能な業者が、ギャラリー近隣では他に存在しない。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
文化的な町並み醸成の一環として、季節に合わせた展示を実施しているが、ギャラリーの規格にあった保有絵画が少ない。年4回の入れ替えを実施しているが、今後の継続も含めて検討する必要あり。	文化的な町並み醸成の一環として、季節に合わせた展示を実施しているが、ギャラリーの規格にあった保有絵画が少ない。年4回の入れ替えを実施しているが、今後の継続も含めて検討する必要あり。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号	5890
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	1	担当部課名	教育部 生涯学習推進課	
				担当課長名	田上雅則

1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	市史編纂事業				
財務会計上の事業名	市史編纂事業				
事業の対象【誰(何)を】	池田市域の歴史、および歴史資料全般				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	・資料収集・整理・保管・調査・研究   ・市史編纂委員・専門委員による編纂方針や調査内容等の検討   ・市広報誌・HP・チラシやポスター等でのPR				
事業の目的【どのような結果を得るか】	『新修池田市史』『池田市史』史料編を編纂し、池田の歴史を改めて検証するとともに、市民の郷土に対する理解と愛着を深める。併せて歴史資料を系統的に収集・保存する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 5 年度 ~ )		<input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)		
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 24 年度		<input type="checkbox"/> 未実施		
※見直し内容を記入	H25.4より市史編纂委員会を附属機関に移行				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度		<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分		22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)			13,035		5,844		3,854		8,645	
人件費(人・千円)			3.99	12,748	3.12	11,240	4.06	13,573	3.40	12,695	130.1%
内訳	正職員		0.61	4,880	0.67	5,360	0.91	7,098	0.95	7,410	135.8%
	再任用短時間勤務職員		0.38	1,368	0.30	1,080		0		0	0.0%
	任期付短時間勤務職員			0		0		0		0	-
	非常勤職員		2.00	4,600	1.25	3,000	1.60	3,840	1.60	3,840	128.0%
	アルバイト		1.00	1,900	0.90	1,800	1.55	2,635	0.85	1,445	172.2%
支出合計 A			25,783		17,084		17,427		21,340		102.0%
財源	国・府支出金										-
	受益者負担 B										-
	その他財源		144		785		298		109		38.0%
	一般財源		25,639		16,299		17,129		21,231		105.1%
受益者負担率 B÷A											-

指標値	区分		内容		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (予定)	目標値 (H26)
	(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 成果	市史の刊行		冊	1	1		1
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 成果	市広報誌などへの編纂成果のPR		回	12	12	12	12	12
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 成果	講演会の実施		回		1			
(4)	<input type="checkbox"/> 活動	<input type="checkbox"/> 成果								

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 史料編⑩(近代史資料)の編纂が手間取り、史料編⑪(現代史資料)の編纂にやや遅れが生じている
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 市史の成果のPRなどに、市民を交え取り組むことは可能

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 刊行計画にもとづき、編集発刊作業に鋭意取り組むとともに、永続的な歴史資料の管理・保存の実現へ向け、まずは一元保管できる場所として学校跡地などの利用を検討する	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 永続的な歴史資料の収集・管理・保存・活用体制の確立
--	---

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(    ) <input type="checkbox"/> 企業会計(    )			財務会計上の短縮番号	5892
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	2	担当部課名	教育部 生涯学習推進課	
				担当課長名	田上雅則

## 1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	古文書・歴史資料調査事業				
財務会計上の事業名	古文書・歴史資料調査事業				
事業の対象【誰(何)を】	市内に所在する古文書・歴史資料				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	所在の確認、調査、整理、目録作成、撮影複写、および保存対策を施す				
事業の目的【どのような結果を得るか】	地域の歴史の解明、および市史編纂のための基礎資料の整備、保存対策を図り、市民共有の財産として後世に伝えていく一助とする				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成    年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限 (平成    年度 ~ 平成    年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成    年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	文化財保護法第2条、池田市環境保全条例第78条				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		176	176	177	176	100.6%		
内訳	人件費(人・千円)	0.41	3,280	0.30	2,288	0.26	2,028	0.15	1,170	86.7%
	正職員	0.41	3,280	0.28	2,240	0.26	2,028	0.15	1,170	92.9%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	任期付短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員 アルバイト		0	0.02	48	0	0	0	0	0.0%
支出合計 A			3,456	2,464	2,205	1,346	89.5%			
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		3,456	2,464	2,205	1,346	89.5%			
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	古文書・歴史資料の調査	件	1	1	1	1	1
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 着実に古文書・歴史資料の調査・保存に結びついている
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 古文書・歴史資料の取り扱いと解説について一定の経験と知識があり、事業の趣旨を理解してもらえ市民を、ボランティアとして整理作業の一部を依頼することは可能

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
古文書・歴史資料保存の重要性を継続的に発信・PRし、市民の認識の、一層の醸成に努める	古文書・歴史資料保存の啓発活動とその活用策の検討

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号	6660
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	4	担当部課名	教育部 生涯学習推進課	
				担当課長名	田上 雅則

## 1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造
第1期実施計画の事業名	文化財一般事務事業
財務会計上の事業名	文化財一般事務事業
事業の対象【誰(何)を】	市民、文化財
事業の手段【どうする(させる)ことで】	文化財の保護、調査、研究、活用。
事業の目的【どのような結果を得るか】	文化財を適切な状態に保つ。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	文化財保護法第3条、池田市環境保全条例第78条、第87条

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		1,127		1,783		1,432		
内 訳	人件費(人・千円)	0.06人	480	0.06人	468	0.06人	468	0.05	390	100.0%
	正職員	0.06人	480	0.06人	468	0.06人	468	0.05	390	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			1,607		2,251		1,900		1,817	84.4%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,607		2,251		1,900		1,817	84.4%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (予定)	目標値 (H26)	
	(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	指定文化財の修理補助	件	0	2	1	1	1
	(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	指定文化財説明版の取替え	本	0	1	1	1	3
	(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	説明板は予算の関係で、取替えが進んでいないが、市民が文化財を理解し愛着を持つ上で重要であると認識。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	文化財指定・保存に伴う調査は、行政が主体となって行うべき事業である。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
費用を要する地道な事業であり、成果が目立たない。しかし、文化財を保存し後世に伝えていくことは、我々の責務であり、継続されるべき事業である。	費用を要する地道な作業であり、成果が目立たない。しかし、文化財を保存し後世に伝えていくことは、我々の責務であり、継続されるべき事業である。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )			財務会計上の短縮番号	6670
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	5	担当部課名	教育部 生涯学習推進課	
				担当課長名	田上 雅則

## 1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興				
第1期実施計画の事業名	文化財公開展開催事業				
財務会計上の事業名	文化財公開展開催事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	文化財に触れる機会を設ける。市指定文化財の公開、現地解説を行う。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	文化財や郷土文化に対する理解と郷土愛の向上を涵養する。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成   年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限(平成   年度~平成   年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成20年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
	※見直し内容を記入		到着時のみの解説、ウォーキングを全面に出す。		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
	※根拠となる法令の条項までを記入		文化財保護法第3条・第4条、地教行法第28条		

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		40		40		40		
内訳	人件費(人・千円)	0.14	1,120	0.09	720	0.07	546	0.09	702	77.8%
	正職員	0.14	1,120	0.09	720	0.07	546	0.09	702	77.8%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			1,160		760		586		742	77.1%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,160		760		586		742	77.1%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内容	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (予定)	目標値 (H26)	
	(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	指定文化財の公開・現地解説	件	4	4	4	4	4
	(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	公開展参加者数	人	35	50	60	60	60
	(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	文化財の公開は、文化財の保護・活用の基本である。この事業を通して一般公開されていない文化財を所有者の協力により、市民に公開できる。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	文化財活用の基本は、文化財を公開することであり、所有者と行政との信頼関係を築きながら遂行してきたもの

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
参加者数も50から60人で、目標の人数を推移できている。教育委員会が実施する事業のため、所有者の協力も得やすく、近くで見れる場合もあり、民間・有志の事業とは、違う趣がある。参加者の立場になって、よりよいものにしてほしい。文化財活用の基本は公開することであり、今後とも継続すべき事業と考える。	参加者数も50から60人で、目標の人数を推移できている。教育委員会が実施する事業のため、所有者の協力も得やすく、近くで見れる場合もあり、民間・有志の事業とは違う趣がある。参加者の立場に立ってよりよいものにして欲しい。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号	6675
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	6	担当部課名	教育部 生涯学習推進課	
				担当課長名	田上 雅則

## 1 事務事業の概要

施策名	社会教育の振興				
第1期実施計画の事業名	埋蔵文化財緊急発掘調査事業				
財務会計上の事業名	埋蔵文化財緊急発掘調査事業				
事業の対象【誰(何)を】	市民				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	埋蔵文化財の調査				
事業の目的【どのような結果を得るか】	個人住宅等の建築に伴い、埋蔵文化財発掘調査を行うことで、開発と文化財保護に関しての必要な資料を収集するとともに、埋蔵文化財の保護と活用に努める。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成19年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	掘削作業の委託				
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	文化財保護法第3条、第93条、第99条、地教行法第23条				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		2,327		1,616		981		
内訳	人件費(人・千円)	0.14	1,120	0.09	720	0.09	702	0.12	936	100.0%
	正職員	0.14	1,120	0.09	720	0.09	702	0.12	936	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			3,447		2,336		1,683		2,826	72.0%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		3,447		2,336		1,683		2,826	72.0%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業に伴う発掘調査件数	件	13	8	6	7	—
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	埋蔵文化財発掘届	件	52	67	54	50	—
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	建築工事の状況により調査件数が増減するため、目標の推移等は判断できない。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	文化財の取り扱い判断と工事業者への指示が必要なため、アウトソーシングは不可。補助的な作業(掘削委託で実施済み)については可能である。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
担当職員の高齢化に伴い、新規の考古学専門職員の確保を強く望む。	目標成果が現れない事業であるが、成果の活用はできるため、調査成果の公開等積極的に行う必要がある。



# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計( ) <input type="checkbox"/> 企業会計( )			財務会計上の短縮番号	6670
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	7	担当部課名	教育部 生涯学習推進課	
				担当課長名	田上 雅則

## 1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	国指定文化財管理費補助事業				
財務会計上の事業名	国指定文化財管理費補助事業				
事業の対象【誰(何)を】	国指定重要文化財所有者				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	国指定文化財管理に伴う防災設備保守点検。管理修理費の補助				
事業の目的【どのような結果を得るか】	国指定文化財を後世に継承するため。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和61年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	文化財保護法第3条、31条、地方教育行政法				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		人	円	人	円	人	円	人	円	
	事業費(千円)	45		94		94		94		100.0%
	人件費(人・千円)	0.15人	1,200	0.09人	680	0.06人	468	0.04	312	68.8%
内訳	正職員	0.15人	1,200	0.09人	680	0.06人	468	0.04	312	68.8%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	1,245		774		562		406		72.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	1,245		774		562		406		72.6%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	防災設備保守・管理修理	件	2	3	3	3	3
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	事業補助のため、所有者の負担が少なく防災設備保守は維持できている。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	重要文化財所有者への市補助であるため、この項目には該当しないと思われる。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
法令に基づくものであり、国の補助制度の継続と府補助額の増額を望む	法令に基づくものであり、国の補助制度の継続と府補助額の増額を望む

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )			財務会計上の短縮番号	700350
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	8	担当部課名	教育部 歴史民俗資料館	
				担当課長名	谷口 博昭

## 1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	歴史民俗資料館管理運営事業				
財務会計上の事業名	資料館管理事業				
事業の対象【誰(何)を】	資料館				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	資料館の資料整理、施設補修及び整備				
事業の目的【どのような結果を得るか】	資料館利用者の利便性の向上及び資料の保全				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度 ~ )		<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)		
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施		
	※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度		<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
	※根拠となる法令の条項までを記入 池田市立歴史民俗資料館条例・池田市立歴史民俗資料館条例施行規則				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		785		534		1,019		
内訳	人件費(人・千円)	0.50	2,170	0.40	3,200	0.70	3,460	0.70	3,460	175.0%
	正職員	0.20	1,600	0.40	3,200	0.30	2,340	0.30	2,340	75.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0	0.40	1,120	0.40	1,120	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.30	570		0		0		0	-
支出合計 A			2,955		3,734		4,479		4,001	120.0%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		92		79		59		70	74.7%
	一般財源		2,863		3,655		4,420		3,931	120.9%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)						
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)							
(1) <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果		資料の購入・寄贈・寄託	件	18	22	7	8	10						
				(2) <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	館蔵資料数	件	3,839	3,861	3,868	3,876	3,886			
							(3) <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	入館者数	人	21,672	20,646	17,114	20,000	21,000
										(4) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果				

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	当初目標とした資料の収集を行うことができた。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	資料の収蔵環境は、各所蔵資料の特徴を学芸員が研究し、それに合わせて管理を行う必要がある。アウトソーシングを導入した場合、研究成果の引継ぎがスムーズに行われず、収蔵環境の維持に支障がでる。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
館蔵資料の収集については、場当たり的にならず計画を踏まえて取り組んでいると認識している。また、館の維持管理の方策を検討・計画して、管理経費の低コスト化を図るためにはいかなる努力が必要か、考慮する必要がある。	館蔵資料の収集については、計画性を重視して取り組んでいると認識している。また、館の維持管理の方策を検討・計画して、いかに管理経費の低コスト化を図るよう努力すればよいのか、考慮する必要がある。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )			財務会計上の短縮番号	700350
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	8	担当部課名	教育部 歴史民俗資料館	
				担当課長名	谷口 博昭

## 1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	歴史民俗資料館管理運営事業				
財務会計上の事業名	資料館運営事業				
事業の対象【誰(何)を】	一般市民				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田の歴史・文化に関する資料の購入・寄贈・寄託				
事業の目的【どのような結果を得るか】	池田の歴史・文化に関する体系的なコレクションの整備				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成   年度 ~ )		<input type="checkbox"/> 時限(平成   年度~平成   年度)		
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成   年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施		
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度		<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市立歴史民俗資料館条例・池田市立歴史民俗資料館条例施行規則				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)	926	1,011	1,192	969	117.9%			
人件費(人・千円)	1.10	5,750	1.00	5,600	2.40	12,220	2.70	13,060	240.0%	
内訳	正職員	0.60	4,800	0.60	4,800	1.10	8,580	1.10	8,580	183.3%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	任期付短時間勤務職員	0	0	0	0	1.30	3,640	1.60	4,480	-
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト	0.50	950	0.40	800	0	0	0	0	0.0%
支出合計 A		6,676	6,611	13,412	14,029	202.9%				
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	6,676	6,611	13,412	14,029	202.9%				
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資料の購入・寄贈・寄託	件	18	22	7	8	10
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	館蔵資料数	件	3,839	3,861	3,868	3,876	3,886
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	入館者数	人	21,672	20,646	17,114	20,000	21,000
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

## 3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	当初目標とした資料の収集を行うことができた。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	寄贈資料は、恒久的に池田市の歴史、文化を紹介するために利用されることを期待して、資料館および学芸員に託されたものである。アウトソーシングを導入し、公から私に移ることで、この前提が守られなくなる。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
本事業の主目的である市民の学習の場の提供については、職員(任期付を含む)の努力で可能な範囲で提供できている点は大きく評価できる。今後は市民ニーズに応えながら、所蔵資料の研究を基礎とする展示内容等を構築し、入館者を増加させる方法を検討する必要がある。	本事業の主目的である市民の学習の場の提供については、職員(任期付を含む)の努力が大きく評価はできる。今後はいかに年間の展示内容等に工夫を加え、市民ニーズに応えることにより、入館者を増加させる方法を検討する必要がある。

# 事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計(   ) <input type="checkbox"/> 企業会計(   )			財務会計上の短縮番号	700350
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	5043	8	担当部課名	教育部 歴史民俗資料館	
				担当課長名	谷口 博昭

## 1 事務事業の概要

施策名	市民文化の創造				
第1期実施計画の事業名	常設展、特別展開催事業				
財務会計上の事業名	常設展、特別展開催事業				
事業の対象【誰(何)を】	一般市民				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田市域およびその関連地域の歴史・文化に関する展示等を実施				
事業の目的【どのような結果を得るか】	郷土理解と文化財愛護思想の啓蒙を図り、よりよい文化の創造とまちづくりに役立たせる				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成   年度 ~ )		<input type="checkbox"/> 時限 (平成   年度~平成   年度)		
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成   年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未実施		
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度		<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市立歴史民俗資料館条例・池田市立歴史民俗資料館条例施行規則				

## 2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		3,598		2,896		2,570		
人件費(人・千円)		1.60	7,920	2.20	10,400	1.60	7,480	1.60	7,480	72.7%
内 訳	正職員	0.80	6,400	1.00	8,000	0.60	4,680	0.60	4,680	60.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0	1.00	2,800	1.00	2,800	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.80	1,520	1.20	2,400		0		0	0.0%
支出合計 A			11,518		13,296		10,050		10,567	75.6%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		1145		732		391		280	53.4%
	一般財源		10,373		12,564		9,659		10,287	76.9%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単 位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	常設展示入館者数	人	14,655	14,068	12,534	14,000	14,000
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特別展示入館者数	人	7,017	6,449	4,580	6,000	7,000
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	常設展示の回数	回	4	4	4	4	4
(4)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	特別展示の回数	回	1	1	1	1	1

## 3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	当初目標とした入館者数に達することができなかった。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	常設展、企画展は、学芸員が長期的な調査、研究を行い蓄積した成果を基礎として、企画・立案・実施している。アウトソーシングを導入した場合、継続的な調査、研究が実施されなくなるとともに、成果の引継ぎがスムーズに行われぬ。

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
運営事業でも指摘したが、市民がいかに館を評価しているかを図る指標は、入館者数である。ここ数年減少傾向にあるが、所蔵資料の研究を踏まえた魅力ある展示等の工夫を求める。また、来館者がより利用しやすくなる条件などの模索を求める。	運営事業でも指摘したが、市民がいかに館を評価しているかを図る指標は、入館者数である。ここ数年減少傾向にあるが、資料館の最大限の魅力を発揮できる展示内容等の工夫を求める。